



☆☆☆

目次

☆☆☆トピックス☆☆☆

- ☆☆☆新市場創造型標準化制度ー日本規格協会☆☆
- ☆☆☆パートナー機関イベント情報☆☆

- 1◆報告ー事業活動(委員会他)◆
- 2◆報告ー理事会、運営委員会等◆
- 3◆実績・予定ー協会スケジュール◆
- 4◆編集後記◆

☆☆☆トピックス☆☆☆

☆☆☆新市場創造型標準化制度ー日本規格協会☆☆

新市場創造型標準化制度につきましては、昨年までに 23 テーマ（内、国際提案を 1 件含む）が同制度の対象となり、既に 5 件の JIS が公示されました。
JRIA では日本規格協会のパートナー機関としてこの新市場創造型標準化制度の活用のお手伝いをさせていただきます。先ずはご興味をお持ちの会員企業様対象に、制度の詳細説明、相談会を企画いたしますので、できれば今年度中に事務局まで依頼して戴ければ幸いです。

☆☆☆パートナー機関イベント情報☆☆

＜＜井上春成賞候補技術推薦＞＞

第 4 2 回井上春成賞表彰のための候補技術募集が始まりました。「井上春成賞」は、科学技術振興機構の前身の一つである新技術開発事業団の初代理事長であり、工業技術庁初代長官でもありました故井上春成氏が我が国科学技術の発展に貢献された業績に鑑み、昭和 5 1 年に創設された賞であります。JRIA からの推薦を希望される場合はぜひ事務局までお申し出ください。賞に関する詳細 URL は下記のとおりです。

<http://inouesho.jp/>

＜＜2017 年本田賞候補者推薦＞＞

第 3 8 回本田賞候補の募集が始まりました。「本田賞」は 1 9 8 0 年に科学技術分野における日本初の国際褒章として設立され、エコテクノロジーの理念に沿った科学技術や社会の発展に貢献した個人またはグループを世界中から毎年 1 件選出し、顕彰（副賞 1 千万円）しております。JRIA に推薦を希望される場合はぜひ事務局までお申し出ください。賞に関する詳細 URL は下記のとおりです。

<http://www.hondafoundation.jp/hondaprize.html>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

1◆報告―事業活動(委員会他)◆

☆委託事業・補助事業

1/13 サイレントチェンジ研究推進委員会を開催しました。

1/16 ミニマルファブ中間評価・評価会が開催されました。

1/18 サイレントチェンジ中間評価・評価会が開催されました。

2/10 第4回サステナブル委員会を開催しました。イノベーション人材の評価・育成等を、戦略的また客観的に支援するシステムの、本年度検討のまとめを行いました。

☆自主委員会

1/12 第3回触感測定研究会を開催しました。高精度センサーを用いた触感の測定法について測定含めた討議を行いました。

1/16 第3回環境技術調査委員会を開催しました。温暖化の元凶となっているCO₂の原料として化学反応によりメタノールやカーボネイト等を作る技術や、国内外の企業の動きを、東京理科大学 杉本先生より講演いただき、熱心な討議を行いました。

1/19 第2回「食の安全」専門調査研究会を開催した。農林水産省食品安全政策課吉岡 修課長より「農林水産省におけるレギュラトリーサイエンスの推進について」と題して講演いただいた。講演の中で「農水省が必要としている研究例」「農水省における研究事業」について紹介があり、活発な質疑応答が行われた。講演会終了後、獅山専務より研究会の今後の進め方についてプレゼンが行われ委員間で議論を行った。

1/23 検査・分析委員会が開催された。本年度の活動計画であった、検査分析業界の動向調査、国際認証動向調査、福島・宮城方面の震災後の復興状況調査等がすべて終了し、活動成果報告書を取りまとめている段階である。

1/25 先導技術研究会・講演会では、産総研臨海副都心センターにおいて、東大工学系大学院の高木 周教授による「「京」コンピュータによる人体のシミュレーションについて」と題する講演会を開催した。講演では、「血管中の赤血球の流れ方のシミュレーション」等の結果が動画を用いて示され、活発な質疑応答がなされた。

1/31 第4回環境技術調査委員会を開催しました。ビッグデータの環境ビジネス領域での取組みとして、発電所等の利用事例やビッグデータの技術について、NEC ビッグデータ戦略本部岡田 主席事
業主幹より講演いただき、熱心な討議を行いました。

2/ 1 産総研との共催により、産総研臨海副都心センターにおいて「次世代再生医療の基礎と夢? 細胞機能制御(臓器形成)への医学、工学的アプローチ?」と題するシンポジウムを開催した。5件の講演に対して、それぞれ極めて活発な質疑応答がなされた。

2/ 2~3 先導技術研究会では、2/2~2/3の両日、先導技術研究会メンバーによる北九州地区の視察を行った。

2/ 7 第5 技術系人材委員会を開催しました。ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ堤氏、飯野氏より、「企業内新規事業創出の新たなアプローチ」を国内先進企業、リーディング大学等で

活用されている、スタンフォード大学発の考え、実践のポイント等について講演いただき、熱心な討議を行いました。

2/ 8 第 4 回触感測定研究会を開催しました。高精度測定結果の解析結果を元に具体的な測定法を検討しました。

2◆報告—理事会、運営委員会等◆

★運営委員会(1/26)★

今年は、役員改選の年であり次期2年間を非常に重要な期間と捉え、協会事業の抜本の見直しを図るため中期ビジョンの策定を進めています。今回の運営委員会ではJRI Aの中長期ビジョン(案)について活発に議論いただきました。本中長期ビジョン案および具体的な施策案は2月14日に開催する、理事会メンバーとの会合にてご説明しご意見を賜る予定です。

★第72回研究産業技術懇談会(1/31)★

経済産業省 産業技術環境局 産業技術政策課から八木補佐をお招きし、「イノベーションを推進するための取り組みについて」講演いただきました。会員企業からの参加者は11名で活発な質疑応答がなされました。八木補佐からは企業の最前線の方々と情報交換が行えてご本人にとっても勉強となったとのコメントをいただきました。

3◆実績・予定—協会スケジュール◆

(予定は確定分のみ掲載しています)

<1月>

- 1/ 4 仕事始め
- 1/12 触感測定研究会
- 1/13 サイレントチェンジ研究推進委員会
- 1/16 ミニマルファブ中間評価・評価会
- 1/16 環境技術調査委員会
- 1/18 サイレントチェンジ中間評価・評価会
- 1/19 第2回「食の安全」専門調査研究会
- 1/23 検査・分析委員会
- 1/25 先導技術研究会・講演会
- 1/26 運営委員会
- 1/31 産業技術懇談会
- 1/31 環境技術調査委員会

<2月>

- 2/ 1 先導技術交流会・シンポジウム
- 2/ 2 先導技術研究会・北九州地区視察
- 2/ 7 検査・分析ハイレベル会合、技術系人材委員会
- 2/ 8 触感測定研究会
- 2/10 サステイナブル委員会
- 2/14 ナノ元素標準化検討委員会
- 2/20 検査分析委員会
- 2/21 環境技術調査委員会
- 2/22 研究開発マネジメント委員会
(富士フィルム オープンイノベーション・ハブ見学)
- 2/27 運営委員会

< 3月 >

- 3/ 8 総合役員会・理事会
- 3/31 平成 28 年度事業完了日

< 4月 >

- 4/24 企画評価 WG
- 4/28 CTO 交流会

< 5月 >

- 5/16 運営委員会
- 5/31 活動成果報告会
- 5/31 総合役員会・理事会・通常総会

○最新の協会スケジュールは、HP のトップで参照できます。

- ・ <http://jria.or.jp//>

4 ◆編集後記◆

- ・最後までお読みいただきありがとうございました。
また、皆様の忌憚のないご意見を頂戴できればと存じます。

***** 研究産業・産業技術振興協会 (JRIA) ニュースについて*****

- ・本ニュースは、関係部署に転送いただき、ご活用いただけますと幸いです。
また、非会員関係先等への転送にもご協力いただきますようお願いいたします。
- ・バックナンバー : http://www.jria.or.jp/HP/jria_news.htm
- ・JRIA ニュースの送付先アドレスの変更やご不要な場合は下記事務局までご連絡願います。

研究産業・産業技術振興協会 (JRIA) ニュース 2017. 2 号 Vol. 169 2017/2/16 発行

発行元 一般社団法人 研究産業・産業技術振興協会

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-23-1

クロセビア本郷ビル 2F

TEL. 03-3868-0826 FAX. 03-5684-6340 <http://www.jria.or.jp/>

事務局 企画交流部主任 松田香織、企画交流部長 松岡太郎

E-mail: matsuoka@jria.or.jp
